

8 消防費

1 消防費 1 常備消防費

[担当：消防本部 総務課] P. 222

0501 消防総務事務に要する経費 25,893,000 円 (21,394,000 円)

[その他 430,000 円 一財 25,463,000 円]

* 特財積算根拠

[手数料：危険物許認可手数料 429,000 円]

[手数料：コピー手数料 1,000 円]

○ 目的

消防を取り巻く環境の変化に適正かつ迅速に対応し、各種災害による被害の軽減及び地域住民の多様化するニーズに応えるため、消防活動能力の向上、消防体制の充実強化を図る。

○ 内容

- ・ 自動体外式除細動器リース料 2,365,000 円
市内の公共施設、小・中学校、コンビニエンスストアなどに 104 台を設置する。
- ・ 防火衣リース料 6,753,000 円
消防活動のため、166 着を消防職員に貸与する。
- ・ 消防用備品 1,846,000 円
消防用備品は、水難救助資機材、ガス検知器、化学防護服、軽量ポンペを整備する。

[担当：消防本部 総務課] P. 227

3401 いばらき消防指令センターに要する経費 39,550,000 円 (24,968,000 円)

[地方債 9,700,000 円 その他 6,000 円 一財 29,844,000 円]

* 特財積算根拠

[市債：防災対策事業債 10,816,000 円×90%≒9,700,000 円]

[諸収入：いばらき消防指令センター設備保険料受入金 6,000 円]

○ 目的

県内 20 消防本部 33 市町が共同運用する消防指令管制業務により、業務の効率化を推進するとともに、各消防本部の連携及び情報共有化を可能とすることで、隣接地域や大規模災害時における相互応援体制の充実強化を図る。

○ 内容

- ・ 火災保険料 6,000 円
- ・ 住民記録データ作成業務委託料 152,000 円
- ・ 茨城消防救急無線・指令センター運営協議会負担金 39,392,000 円

いばらき消防指令センターの維持管理に必要な負担金等である。また、令和6年度から令和7年度まで茨城消防救急無線・指令センターの通信指令業務を維持しながら、AVM（車両動態表示設備）の更新を行う。

1 消防費 2 救急業務費

[担当：消防本部 警防課] P. 227

0501 救急業務に要する経費 8,168,000円（6,880,000円）

[一財 8,168,000円]

○ 目的

救急需要の増加及び救急業務の高度化に対応するため、救急資機材の適正な供給や維持管理を図る。

○ 内容

- ・ 救急消耗品費 3,727,000円
- ・ 医薬材料費 2,819,000円
- ・ 救急隊員感染防止予防接種業務委託料 240,000円

救急活動に必要な消耗品や医薬材料等の充実を図り、救命率の向上や搬送体制の強化、救急業務の高度化に対応するとともに、市民等への応急手当の普及促進など、救急業務の更なる充実強化に取り組む。

1 消防費 3 非常備消防費

[担当：消防本部 総務課] P. 228

2001 消防団員に要する経費 47,888,000円（48,063,000円）

[その他 12,121,000円 一財 35,767,000円]

* 特財積算根拠

[諸収入：消防団員退職報償金受入金 12,000,000円]

[諸収入：消防団福祉共済返戻金 121,000円]

○ 目的

地域防災力の中核である消防団員の活動環境の充実強化を図る。

○ 内容

- ・ 消防団員報酬（498人） 20,274,000円
- ・ 消防団員退職報償金（50人） 12,000,000円
- ・ 消防団員退職報償負担金（552人） 10,599,000円
- ・ 消耗品費（団員用被服）（30人） 1,399,000円
- ・ 消防団員準中型免許取得助成金（3人） 300,000円

消防団員の処遇である報酬及び退職報償金などを計上し、併せて、運転免許制度改正に伴う準中型運転免許取得費用に係る助成を実施し、団員（機関員）の確保を行う。

[担当：消防本部 総務課] P. 229

2101 消防団の運営に関する経費 42,916,000円 (43,604,000円)

[地方債 21,300,000円 その他 5,361,000円 一財 16,255,000円]

* 特財積算根拠

[市債：消防防災設備整備事業債 22,491,000円×1/2×100%≒11,200,000円]

[市債：消防防災設備整備事業債 (22,491,000円－11,200,000円)×90%≒10,100,000円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 1,191,000円]

[繰入金：地域振興基金繰入金 4,170,000円]

○ 目的

消防団活動の適正な運営のため、施設装備の充実強化を図る。

○ 内容

- ・ 消防団員出場報酬 4,530,000円
火災や各種訓練等に伴う出場報酬を確保する。
- ・ 消防ポンプ自動車 22,491,000円
消防団運営の維持、活性化及び活動能力向上のため、第7分団（青柳・青柳1丁目・井野・井野1～3丁目・井野団地）の車両を更新する。
- ・ 消防団運営交付金（分団・団幹部） 5,968,000円
各分団の運営資金を確保する。

[担当：消防本部 総務課] P. 230

2102 全国消防操法大会に関する経費 3,089,000円 新規

[その他 1,540,000円 一財 1,549,000円]

* 特財積算根拠

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 1,540,000円]

○ 目的

令和5年度茨城県消防操法大会で優勝した第26分団が、茨城県代表として第30回全国消防操法大会へ出場するための費用を負担する。

○ 内容

第30回全国消防操法大会

日程 10月12日(土)

場所 宮城県宮城郡利府町菅谷字館40-1 宮城県総合運動公園

出場分団 第26分団（台宿・台宿1～2丁目・取手3丁目・東3～6丁目）

- ・ 操法訓練報酬 684,000円
- ・ 旅費 600,000円
- ・ 消耗品費（活動服・ホース・靴・手袋・管そう） 565,000円
- ・ 燃料費 114,000円

・食糧費	140,000 円
・有料道路使用料	159,000 円
・備品購入費（のぼり旗・角型水のう）	827,000 円

1 消防費 4 消防施設費

[担当：消防本部 警防課] P. 230

2201 消防施設の整備に要する経費 184,415,000 円 (74,819,000 円)

[地方債 172,400,000 円 その他 12,015,000 円]

* 特財積算根拠

[市債：消防防災設備整備事業債 179,015,000 円 $\times 1/3 \times 100\% \doteq 59,600,000$ 円]

[市債：消防防災設備整備事業債

(179,015,000 円 $- 59,600,000$ 円) $\times 90\% \doteq 107,400,000$ 円]

[市債：緊急防災・減災事業債 5,400,000 円 $\times 100\% = 5,400,000$ 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 12,015,000 円]

○ 目的

複雑多様化する各種災害へ対応するため、最新の資機材を搭載した救助工作車を更新するとともに、迅速・適格な現場活動に有効活用できる空中ドローンを新規に配備し、災害時の情報収集及び消防体制の充実強化を図る。

○ 内容

・救助工作車 179,015,000 円

取手消防署に配備されている平成 12 年式救助工作自動車を更新する。

・空中ドローン 5,400,000 円

取手市消防本部に新たに空中ドローンを配備する。